

グローバルでコンプレッサー生産 累計4億台を達成

サンデン株式会社（以下、当社）は、2024年2月2日、グローバルでのコンプレッサー生産が、累計で4億台に達成しましたのでお知らせいたします。



当社は、1971年に、コンプレッサーの生産を日本で開始しました。1973年には年間35万台の生産能力を持つ八斗島工場（現 八斗島事業所）を設立し、生産の拡大を図りました。

1974年にアメリカに現地法人を設立し、グローバルで初めての生産工場となるアメリカ工場を建設しました。その後は、アジア、欧州、中国など、カーエアコン市場の成長が見込まれるエリアでの生産を次々に開始しました。

生産開始当時から1990年代前半までは揺動板式固定容量のSDコンプレッサーが主流でした。1981年には世界初のスクロール式固定容量のTRコンプレッサーの生産を開始しました。この、スクロールの方式は現在の電動コンプレッサーにも技術が継承されています。

1990年代当時、まだエアコン装着率が低かった欧州に進出するにあたり、高速性とドラバビリティの要求特性に合わせ、揺動板式可変容量のSDVコンプレッサーを開発し、欧州顧客からの採用に伴い生産を拡大し、現在の欧州における事業基盤を確立しました。

コンプレッサーの生産開始から30年後の2001年に、グローバルでの累計生産台数が1億台に達しました。その後、2000年代半ばより、ノイズに対する性能により優れた斜板式可変容量のPXコンプレッサーの需要が拡大しました。また、中国において、2000年に合弁会社を設立しコンプレッサーの製造・販売を始めて以降、中国での自動車生産の拡大と比例しコンプレッサーの生産が飛躍的に拡大し、2011年に累計2億台に達成しました。

さらに、車両の電動化に合わせ電動コンプレッサーの生産を2009年に開始し、2016年にはコンプレッサー生産台数の累計は3億台に至りました。

そして、2024年の2月2日に、累計生産台数4億台を達成しました。現在でも自動車の需要の変化に併せた製品を提供し続けています。



SD コンプレッサー



SDV コンプレッサー



PX コンプレッサー



電動コンプレッサー

グローバル生産 5 極体制



当社は、今後もユーザー、顧客の近くで生産することを、迅速で柔軟な対応を実現するという方針のもと、グローバルでの生産体制の拡充を進め、電動化などの需要の変化に先んじて対応し、高品質な製品を世界中に届けます。

また、技術開発により環境に優しい冷媒へのシフトなど環境負荷対応なども推進し、コンプレッサーの生産によるサステナブルな成長を今後も続けてまいります。

本件に対するお問い合わせ
サンデン株式会社
総務本部 グローバル総務セクション（広報）
sdhd.prcsr.jp@g-sanden.com
